

令和7(2025)年度

猪名川の 教育ナビゲーション



猪名川小学校
(体育の授業 / 動物体操)



白金小学校
(理科 / 太陽の観察)



清陵中学校
(中庭コンサート)



六瀬幼稚園
(どんぐりの種類わけ)

あす
猪名川で学び、未来をつくる
— 終身成長で紡ぐ幸せの物語 —

はじめに

月の地平線から登る地球の姿

この青い惑星には 870 万種類の生き物が住んでいると言われています。

46 億年前、真っ赤な色をしていたこの惑星は、黒色、青色、灰色、赤色、白色、そして緑色と変わっていきました。光合成をする生物が現れてから酸素が増えて、核を持った生物があらわれ、地球はこれらの生物たちによってその姿を変えていきました。現在の地球の環境は、多くの生き物達が相互につながって作り上げた環境です。そして、この生き物達も、5 億 4000 万年前に始まる古生代から現在までの間に 5 回、大絶滅しました。最後の大絶滅は、恐竜が繁栄していた時代の最後である約 6600 万年前でした。そして、次の絶滅を引き起こすのは、200 万年前に現れた人類ではないかと言われています。250 年前に始まった産業革命によって地球の環境は急速に変化しました。地下に眠っていた化石燃料を燃やし、プラスチックを作り、人間の作り出したごみは氾濫し、生き物達の生命の循環が破断しています。目に見えないところで多くのものが失われています。ようやく、1990 年代に入って世界は持続可能性に気づき始めました。「人間らしく、幸せに生きる姿とは、何か。」

人間は、生きるために自然のものを利用し、作り変え、人間の生活を豊かにしてきました。今では多くの専門家による科学技術の力で高度な社会を築いています。探究する力が新しい社会を切り拓いてきました。人間の未来に役立つ新しい知恵を見つけ、創造する力が今問われています。

科学技術の力は、個人で生活する用具や生活スタイルを作りだしました。その分、人間同士の助け合い、協働する機会を奪っていきました。人間関係は希薄になり、豊かな心のつながりが失われてはいないか、共に支え合ってつながって生きる社会の絆が見失われていないかと振り返りながら、今、つながろうとする心と協働する力も問われています。

今、社会で起こっていること、世界が変わっていかうとしていることに自分はどうかかわっているのか、どう参加していけばよいのか、人生をどう生かしていくのか、このような個人と社会のつながりを主体的に考える力が求められています。自分事として考え、社会に参加する力は、経験を積み重ねることで培われていきます。

人生を閉じるとき、一番後悔することは何かと、問われたことがあります。その先生は言われました。「もっと学んでいれば良かったと後悔しないことだ」と。そんな子ども達にしないために、私たちには何ができるのでしょうか。学びを喜びとする力も大切です。

生きている姿、毎日の生活の営み、触れ合う人間の輝き、つながっている自然界の生き物、昔から地域社会を支えてきた生業（なりわい）、力を合わせて作り上げてきた村の行事など、目の前にある身近なものに知的探求心を働かせて、自分なりに働きかけ、感じ考える探究的な学びが、未来を切り開いていきます。主体的に学びを経験し、組み立てていく経験は、これからの未知なるもの、新しい価値観を創造する原動力です。

猪名川を学びのフィールドにして、世界を変える力を、私たちは日々の教育実践の中で育てていきます。自分たちのまちの未来を考え意見を出し合えるまちづくり、人づくりを目指します。

猪名川町教育長 中西 一成

目次

1 猪名川町の教育が目指す方向（猪名川町教育振興基本計画より）

① 基本理念	1
② 猪名川の教育が目指す育ちの姿	1
③ 育みたい力と学びの場	2
④ 教育構想図	3

2 展開する施策

1 「猪名川チャレンジ」と「猪名川学」	5
---------------------------	---

2 施策の内容

（1）生涯学ぶ喜びをみんなで感じられる人生100年時代の教育づくり

① 猪名川を生かした学びの機会の創出	6
② 持続可能なスポーツ・芸術文化活動の活性化	6
③ 地域づくりを担うリーダー等の育成と活躍できる場の創出	6
④ 地域の情報活用能力の向上	6

（2）子どもの育ち・学びを支える家庭・学校・地域の協働

① 家庭教育、子育て力の向上に向けた地域支援	7
② コミュニティ・スクールの推進	7
③ 地域学校協働活動の推進	7
④ 地域クラブ活動の推進	7
⑤ 楽しく安全・安心な遊び場、子どもの居場所づくり	7

（3）猪名川から始まるグローバルな学び

① 「猪名川学」のデザインとマネジメント	8
② 猪名川学の土台となる学びの推進	8
③ ワークショップ「イマジン猪名川」への全幼児児童生徒の参加	8
④ 保幼小中の連携強化による縦・横の連続・連携した学びの推進	9
⑤ グローバル教育の推進	9

（4）誰一人取り残さず、一人一人の可能性を引き出す共生社会の実現

① 人権に関わる課題について考え、自ら行動する力の育成	10
② インクルーシブ教育システムの推進	10
③ 多文化共生社会と国際理解教育のさらなる推進	11
④ いじめ問題の積極的な対応	11
⑤ 不登校児童生徒や社会的なひきこもりの方が学べる機会の確保	11
⑥ 困難を抱える子どもの支援	11

（5）終身成長（学び続けること）を支える条件整備

① 子どもも大人も学び続けるための学校教育施設、社会教育施設の適正管理と有効活用	12
② 教職員の働き方改革による適正な職場環境づくり	12
③ 教職員の資質の向上	12
④ まちの未来を考える教育の推進	12
⑤ 持続可能性を追求する教育の創出	12
⑥ 安全教育、学校保健体制の拡充	13
⑦ 教育DXの推進	13

猪名川町の教育が目指す姿（第3次猪名川町教育振興基本計画より）

1 基本理念

猪名川で学び、^あ未来^すをつくる

— 終身成長で紡ぐ幸せの物語 —

猪名川の教育が目指す育ちの姿を実現するために必要となる「未来をつくる力」「つなげる力」「知の創造力」「協働する力」「共生する力」の5つを育みたい力とします。

猪名川の教育を通じてこれらの力を育むとともに、町内だけでなく日本、世界の舞台でも学びを続け、その学びを生かして活躍できる人を育てていくことを目指します。

基本理念 1

猪名川を知り、猪名川で学び、猪名川をつくる。

基本理念 2

足元を考え、地域で行動し、世界を変える。

基本理念 3

^あ未来^すを描き、^あ未来^すを拓き、^あ未来^すをつくる。

2 猪名川の教育が目指す育ちの姿

① 自分の目標に向かって、社会の変化に主体的に向き合い、

果敢にチャレンジする人 ～幸せな自分をつくるために～

自分のつくりたい未来に向かって、急激な社会の変化にも柔軟に対応しながら、失敗を恐れず果敢にチャレンジし、未来を切り拓く力を持った人が育つ。

② 自分と多様な他者を大切にし、共につながり支え合う

共生社会の担い手となる人 ～幸せな社会をつくるために～

互いの生命、人権、考え方や価値観などの違いを尊重し、一人一人が幸せを感じながら人とつながり支え合う共生社会をつくる担い手が育つ。

③ 創造的に物事を生み出し、自ら変化を起こせる人

～幸せな未来をつくるために～

今までの「あたりまえ」や過去の考えにこだわることなく、自ら変化を起こす気概を持って、他者と対話し、想像し、協働して新しい価値を創り出す人が育つ。

3 育みたい力と学びの場

① 未来をつくる力

ふるさとへの想いや志を元に、課題を見つけ、ありたい未来を思い描く。そして、失敗にめげず可能性を迫及し粘り強く未来を実現しようとする力を育む。

② つなげる力

複雑で見通しの付きにくい社会で、情報を集め物事を関連づけたり、対立やジレンマに耐え、人や社会の動きをつなげたり、新しい価値観を生み出そうとしたりする力を育む。

③ 知の創造力

生涯にわたって知的好奇心を育み、身の回りの物事を科学的に捉え真理を追究し、世の中の課題に創造的に取り組みながら解決しようとする力を育む。

④ 協働する力

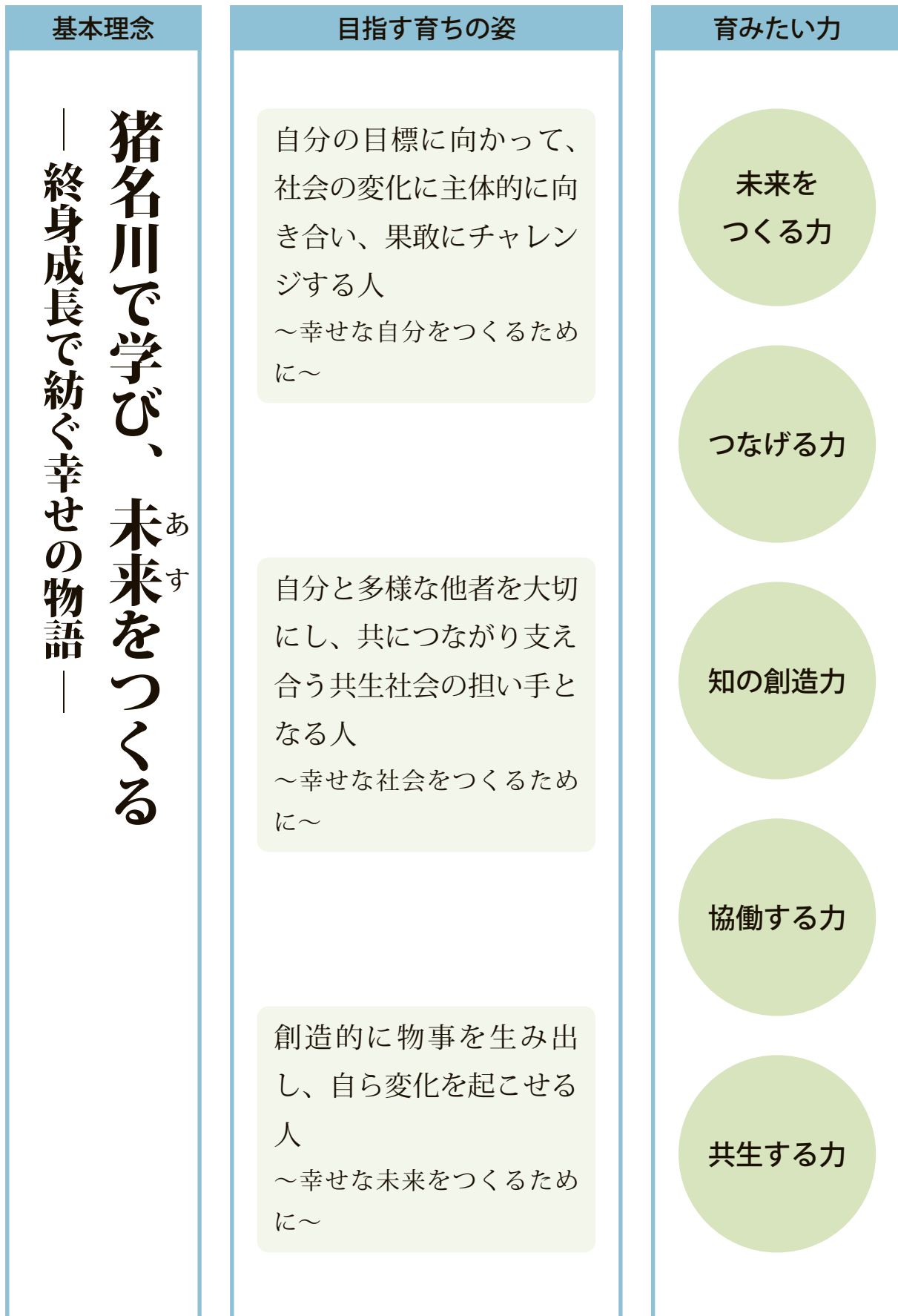
自らコミュニケーションする力を高め、進んで多様な人々と交流し、互いに力を合わせて社会づくりに参画する力を培う。

⑤ 共生する力

お互いの違いを個性として認め合い、人間として尊重し互いに支え合い、一人一人がなりたいたい自分を実現できる社会を積極的に築こうとする力を培う。



4 教育構想図



施策の柱

1

**生涯学ぶ喜びをみんなで感じられる
人生 100 年時代の教育づくり**

乳幼児、小中学生、高校生、大学生、社会人、高齢者、または家庭にいる人や職場で働く人など、それぞれのステージならではの学びがあります。人生 100 年時代に必要となる生涯にわたる学びの場をみんなで考え、つくり、充実させていきます。

2

**子どもの育ち・学びを支える
家庭・学校・地域の協働**

家庭教育への支援や子育て家庭を支援する地域コミュニティを目指します。
また、学校と地域が共に考え共に行動する協働体制を築き、家庭、学校、地域との協働の中で、子どもたちの安全・安心な生活を支えます。

3

猪名川から始まるグローバルな学び

猪名川町の自然や文化、それらを育んできた人々の暮らしから学ぶ学習体系を幼小中の学校教育の教育課程に組み込み、地域の資源を教材化し、教科等横断的な探究学習を地域カリキュラムとして展開します。そして、地域の学びを世界や地球全体の学びへとつなげます。

4

**誰一人取り残さず、
一人一人の可能性を引き出す共生社会の実現**

国際理解や多文化との共生、障がいの有無に関わらないインクルーシブな社会を目指します。また、どんな差別や偏見も許さない人権意識を高め、すべての人が「なりたい自分」の姿を描き、実現できるよう、つながり合い、支え合える共生社会「猪名川」を目指します。

5

終身成長（学び続けること）を支える条件整備

誰もが終身成長できるよう、学校教育施設、社会教育施設の適正な維持・管理や有効活用、教育のDXによる教育環境の整備を推進します。また、教職員の資質向上や、教職員の働き方改革などによる職場環境づくりなど、質の高い教育を提供するための条件整備を進めます。

展開する施策

1 「猪名川チャレンジ」と「猪名川学」



「猪名川」 × 「学ぶ喜び」 × 「絆」 = 猪名川チャレンジ

猪名川チャレンジとは私たち一人一人が、まちが抱える課題を自分事として捉え、対話や取組を通じ、
 ありたい未来をつくっていく取り組みの事です。そのゴールは幸せな自分、幸せな社会、幸せな未来を
 つくることです。

猪名川を持続可能で魅力的なまちにしていくためには、大人こそが生涯を通じて学びを楽しみ、チャレンジし続けることが大切です。そのような大人の背中子どもたちにとって最高の教材になります。未来は私たちの手の中にあります。学び成長する喜び、貢献する喜びを味わい、ありたい未来をともにつくっていきます。



「猪名川」×「好奇心」×「世界」= 猪名川学

猪名川学は、幼稚園から中学校までを一貫する探究学習のことで、猪名川での毎日の「生活そのもの」が学びの機会であり、猪名川のまち全体を学びの場とします。

私たちの身の回りの暮らしや出来事が、日本だけでなく世界の経済や社会活動につながっていることに気づき、猪名川から始まる学びのフィールドが日本全国・地球全体へと広がっていきます。そして、それぞれの学びが、私たち一人一人の未来をつくることにつながっていくような新しい学びのかたちです。



2 施策の内容

(1) 生涯学ぶ喜びをみんなで感じられる人生100年時代の教育づくり



キーワード

誰でも参加できる生涯学習 # 生涯にわたる学びの場
ワークショップ「イマジン猪名川」

主な取組	
①猪名川を生かした学びの機会の創出	
○公民館では各種公民館講座や生涯学習カレッジ「リバグレス猪名川」の開催など、住民ニーズを踏まえた学習機会の提供を行います。 ○地域の食材を生かした食育や、国史跡多田銀銅山遺跡などの町内各地にある文化財を通しての学習、里山林を活用した体験活動など、地域の資源を生かした教育内容の充実を図ります。	*生涯学習カレッジ「リバグレス猪名川」 *ふるさと教育の推進
②持続可能なスポーツ・芸術文化活動の活性化	
○持続可能なスポーツ・芸術文化活動ができるよう、施設や設備の計画的な維持管理、修繕に努めます。 ○将来にわたりスポーツ・芸術文化活動に継続的に親しむことができる機会の確保に向けた取り組みを推進します。 ○猪名川町文化協会が町芸術文化推進の柱となり、自主的な運営や活動を進められるよう、活動補助、施設の利用促進、自主事業の合同開催などの支援・連携を推進します。	
③地域づくりを担うリーダー等の育成と活躍できる場の創出	
○住民主体の学習活動・地域づくりの支援のため、公民館登録グループ連絡協議会に加盟する団体の施設の利用促進、グループ活動のPR、公民館フェスタへの支援などを行います。 ○ワークショップ「イマジン猪名川」の運営リーダーを育成します。	*地域づくりワークショップ「イマジン猪名川」の実施（※1）
④地域の情報活用能力の向上	
○地域の情報拠点として、図書館では郷土資料や行政資料の収集・情報の発信に努めます。 ○地域ICT教育・情報モラル・リテラシーの向上に向けた講座を実施します。	

※1 イマジン猪名川とは・・・

大人も子どもも一緒になって、猪名川をどうしていきたいのかを楽しく語り合う対話の場や機会のことをさします。ワークショップなどを通じて、「こんなのだうだろう」というアイデアが生まれ、猪名川の各地で新しいチャレンジが次々と動き出す。そんな姿を実現させていきます。

(2) 子どもの育ち・学びを支える家庭・学校・地域の協働



キーワード

子育て家庭の悩みを解決 # 一貫した地域での育ち # 学校と地域の協働体制
地域との効果的な連携 # 子どもが楽しく、安全で安心できる場所

主な取組	
①家庭教育、子育て力の向上に向けた地域支援	
○子育てを支援するため、保育時間終了後に預かり保育を実施し、子育て支援の充実を図ります。 ○「すくすくひょうごっ子」（親子ノート）の活用等を通じた家庭教育との連携を推進します。 ○幼児期の教育相談、情報提供、保護者同士の交流の機会の提供など、地域の実情に応じて子育て支援活動（いなぼう広場）を実施し、「親と子の育ちの場」としての幼稚園の役割や機能の充実を図ります。	*子育て支援活動（預かり保育・いなぼう広場）の実施
②コミュニティ・スクールの推進	
○全学校・園がコミュニティ・スクールとして、学校運営協議会を通じて、協力し合い、目標やビジョンを共有しながら、学校だけでなく地域の課題についても解決できるよう活動を推進します。	*学校運営協議会の充実
③地域学校協働活動の推進	
○保護者・地域に対して、教育活動について積極的に情報提供するとともに、オープンスクールを実施します。 ○学校支援ボランティア等の活用による環境学習、昔遊びの体験の展開など、地域人材の活用を積極的にはかり、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協力し、協働体制を強化します。	*学校支援ボランティアの活用 *オープンスクールの実施
④地域クラブ活動の推進	
○地域のスポーツ団体や民間事業者等との連携を強化し、段階的・計画的に学校が主体となる学校部活動から地域が主体となる地域クラブ活動への転換（地域展開）に向けた環境を整備します。	
⑤楽しく安全・安心な遊び場、子どもの居場所づくり	
○学校支援ボランティアや部活動指導員、学習サポーターなどの外部人材の積極的な活用を含め、専門的な知識・技能を有する個人や団体を講師やゲストティーチャーに招く等、住民参画の教育活動をすすめます。 ○学校・園全体が教育の場としてふさわしい心安らぐ環境となるよう、美化、緑化などに努めます。 ○保護者・地域と連携して作成した地域安全マップを活用し、通学路の点検、危険箇所の情報共有、及び関係機関との調整を行います。	

(3) 猪名川から始まるグローバルな学び



キーワード

ローカルからグローバルに広がる「グローバルな学び」 # 主体的・対話的で深い学び
猪名川学 # 架け橋プログラム # つながりプログラム

主な取組	
①「猪名川学」のデザインとマネジメント	
○猪名川の自然文化資源を教材とした体験学習、教科や道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の教育課程に盛り込み「猪名川学」を構築していきます。また、企業・行政・学校の連携のもと、猪名川を体験フィールドとする農業、林業、漁業、文化財探索や観光などの体験を通じ、猪名川の地域資源を発掘し、学びを広く深く展開します。 ○「猪名川学」を推進する地域のコーディネーターやファシリテーター、指導者の育成を図ります。	*「猪名川学」の推進
②「猪名川学」の土台となる学びの推進	
○幼児児童生徒が見通しを持ち、意欲的に学習（活動）に取り組めるよう、授業（保育）のユニバーサルデザイン化や、めあて・ねらいの提示と振り返り活動等を行うことで、すべての教職員による学びの困難さに応じた指導を展開します。 ○学級担任の交換授業を実施するとともに、教科担任制等の兵庫型学習システムを活用し、個に応じたきめ細やかな学習指導を推進します。 ○各種調査等に基づく実態把握を踏まえ、児童生徒へ基本的な学習内容を十分理解させるとともに、自ら考えて表現する力、対話や協働を通じて、知識を共有し納得解を生み出す力などを育成できるよう、教職員対象の研修を実施し、指導方法の工夫・改善を行います。 ○幼児児童生徒の体力・運動能力の向上に努めるため、各幼稚園・小学校へ専門性に優れたインストラクターを派遣します。また、教職員対象の研修を実施し、授業（保育）の改善を図ります。 ○（小学校・中学校）探究学習を通じて、児童生徒が主体的に考え、自他の違いを互いに認め合いながら、自ら課題を見つけて解決しようとする自主的・実践的な態度を育みます。 ○（幼稚園）幼児理解を深め、発達段階に応じた環境を構成し、特に4歳から6歳ぐらいにかけて発達すると言われる、感情や思考をコントロールする力（非認知能力）を育む保育の実践に努めます。	*校（園）内授業（保育）改善・研究への支援 (MAIDO) *指導力向上のための講師派遣の推進 *町学習到達度調査の実施及び活用 *学校体育・運動遊びの充実 *体力アップインストラクターを派遣
③ワークショップ「イマジン猪名川」への全幼児児童生徒の参加	
○幼児児童生徒の発達段階や各学校園の上記に応じたワークショップ「イマジン猪名川」を実施します。 ○ワークショップを行うための、職員研修を行います。	*学校版ワークショップ「イマジン猪名川」の実施

主な取組	
④保幼小中の連携強化による縦・横の連続・連携した学びの推進	
○「架け橋プログラム」を作成し、幼児と児童、生徒の交流や教職員の連絡会などを通して、情報交換や職員研修を計画的に行い、連続した学びの確保につなげ、縦の連続した学びを推進します。	*異校種間の連携・相互理解の促進 (縦の連携)
○「つながりプログラム」を推進し、町内の保育園・認定こども園・幼稚園の交流活動や合同研修会への参加を呼びかけ、就学前教育・保育内容の交流と充実を図ります。また、小学校・中学校の同一校種間でも交流活動や教職員の研修を実施、横の連携を深めます。	*就学前施設、小学校・中学校の同一校種間の交流 (横の連携)
⑤グローバル教育の推進	
○小学校・中学校に派遣しているALT（外国語指導助手）を幼稚園にも派遣し、早期から英語に慣れ親しむ機会を設けるとともに、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。	*英語・外国語活動の充実
○英語指導力向上研修の推進により、ALTを効果的に活用した授業の組み立て・教材の研究など教員の指導力向上を図ります。	



大島小学校（水生生物の環境整備）



つつじが丘小学校（防災教育 / 1.17 のつどい）



猪名川幼稚園（英語で遊ぼう）

(4) 誰一人取り残さず、一人一人の可能性を引き出す共生社会の実現



キーワード

- # 一人一人に寄り添った支援 # 自ら行動する力の育成
- # インクルーシブ教育システム # いじめの未然防止・早期発見
- # 生活や学校におけるユニバーサルデザイン

主な取組	
①人権に関わる課題について考え、自ら行動する力の育成	
○人権に関わる課題の解決に向け、関係機関との連携を含め、総合的に取り組むための推進体制を整備するとともに、人権課題に関する情報と課題の共有を積極的に図り、課題解決に努めます。 ○学校園や地域の実態を踏まえ、人権に関する知的理解と人権感覚の育成を基盤に、自他の人権を守り、人権課題を解決しようとする実践的な行動力を育成します。 ○同和教育のこれまでの教育実践を踏まえ、今日的な人権課題の理解促進のため、人権教育資料を積極的に活用するなど、系統立てたカリキュラムを基に教育内容の工夫や研究を進めます。 ○教職員が、研修会などへ積極的に参加することにより、自らの人権意識を高め、自らの生き方を通して、子どもの人権尊重の精神を育成するよう心掛けるとともに、子どもの人権が守られるよう努めます。 ○いじめやインターネットによる人権侵害、多様な性への理解など、今日的な人権課題の解決に向けた効果的な指導方法の工夫や改善に取り組みます。	*確かな人権意識を育てる教育の推進 *人権教育の指導内容・指導方法の工夫、改善
②インクルーシブ教育システムの推進	
○特別支援学校、特別支援学級、通級による指導、通常の学級といった連続性のある多様な学びの場の充実・整備を行います。 ○学校における支援の効果をより高めるため、保健・福祉、医療、労働等の関係機関と連携し、切れ目ない一貫した支援体制を強化します。 ○共に尊重しながら協働して生活していく態度を育てるため、交流及び共同学習の充実・整備を行います。 ○障がいの状態や発達段階、特性などを的確に把握し、個々の課題に応じた指導目標・内容・方法などを明確にしていきます。 ○保護者との共通理解の下、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、障がいのある幼児児童生徒が必要な教育を受けられるよう、一人一人の障がいの状態や教育的ニーズに柔軟に応じた指導内容の充実に努めます。 ○進級や進学に当たって適切な合理的配慮を提供するなど効果的な引継ぎを行います。 ○特別支援教育に関する研修会を実施し、教職員の基礎的な知識・技能と指導力の向上に努めます。	*校（園）内支援体制の充実 *専門性の向上と障がいの状態に応じた指導や支援の充実 *円滑な移行支援と関係機関との連携 *授業、保育のユニバーサルデザイン化 *猪名川の教育オープンセミナーの実施

主な取組	
③多文化共生社会と国際理解教育のさらなる推進	
○各教科での学習を通じて、異なる文化、歴史、価値観等の多様性を学び、理解し共に生きていこうとする意欲・態度を育成します。 ○文化や言語、生活習慣、歴史的背景の違いを認め合い、互いに尊重しあう多文化社会の実現をめざし、学校における「豊かに共生する心」を育む子ども多文化共生教育の推進へ積極的に取り組んでいきます。 ○外国にルーツのある児童生徒に対しては、必要に応じて、生活適応や学習支援、心の安定を図るなど学校生活への早期適応を促進するため、子ども多文化共生サポーターを派遣します。	
④いじめ問題の積極的な対応	
○国・県・町及び各校の「いじめ防止基本方針」に基づいて、「いじめ対応チーム」を中心に、家庭や地域、関係機関と連携を図りながら、「いじめを絶対に許さない」組織体制を確立します。 ○児童生徒の声を聴きながら、各校の「いじめ防止基本方針」を定期的に見直し、学校ホームページ等を活用して家庭・地域に発信します。 ○いじめを生まない環境づくりと児童生徒がいじめを許さない・しない態度や能力を身に付けられる取り組みを推進します。 ○いじめの積極的な認知のため、定期的ないじめアンケートの実施や教育相談を通じ、早期発見・早期対応に努めます。 ○学校・家庭・地域・関係機関が連携して、インターネット・SNS上のいじめから児童生徒を守る取り組みを推進します。	*情報活用能力の育成 *いのちの教育の充実
⑤不登校児童生徒や社会的なひきこもりの方が学べる機会の確保	
○クラスに入りづらい児童・生徒が落ち着いた環境の中で、自分にあったペースで学習、生活ができよう、校内サポートルームを設置し、支援を行います。 ○ICT機器を活用し、自宅や校内の別室へのオンラインでの授業配信やアナザーストーリー（AS）の活用による学習保障など、児童生徒の学びを止めない適切な支援に取り組みます。 ○教育支援センターで教育相談（面接相談・電話相談）を実施し、不登校をはじめとする様々な相談に対応します。	*不登校生徒の学習保障事業（AS）の実施 *不登校の予防と支援の充実
⑥困難を抱える子どもの支援	
○子育てに悩みを抱える家庭や児童虐待、ヤングケアラーやマルトリートメントなど、家庭環境等に大きく起因する要支援事案については、学校・園だけが抱え込むことなく、関係機関、スクールソーシャルワーカー等との連携を強化し、町要保護児童対策地域協議会による個別ケース検討会議の開催を要請するなど、適切な対応を図ります。	*相談体制の充実 *家庭、地域、関係機関との連携

(5)終身成長（学び続けること）を支える条件整備



キーワード

- # 教育資源を生かした学びの環境づくり # ICT環境の充実
- # 時代の流れに対応できる質の高い教育環境 # 教育のDX
- # 子どもたちの心身の健康を守るための体制

主な取組	
①子どもも大人も学び続けるための学校教育施設、社会教育施設の適正管理と有効活用	
○より良い教育環境を整備するため、日常点検結果に基づく各所修繕のほか、学校施設の老朽化などに対応するため、令和2年度に策定した「学校施設長寿命化計画」に基づいて、計画的な営繕工事を実施します。	
②教職員の働き方改革による適正な職場環境づくり	
○猪名川町立学校改革プラン（あい・ワクワクプラン）に基づき、業務改善に取り組み、効率的な学校運営に努めます。	*あい・ワクワクプランの推進
③教職員の資質の向上	
○教職員が主体的に研鑽を積む機会や研修の充実に取り組みます。特に、子ども一人一人の可能性や学びを引き出し、「個別最適な学び」や「協働的な学び」を実現するための研修を充実させ、教員の資質向上を図ります。 ○体罰等の非違行為防止についての校園内研修等により教職員全体で共通理解を深め、非違行為の防止に取り組みます。	*教職員研修の充実
④まちの未来を考える教育の推進	
○発達段階に応じて自己の将来像を描き、学ぶことや働くことの意義・役割等を理解させ、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」を身に付けていくことができるよう、すべての教職員の共通認識のもと、特別活動を要としてつつ教育活動全体を通して、キャリア教育の充実を図ります。	*キャリア教育の推進
⑤持続可能性を追求する教育の創出	
○生きる力を核に「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成のための取り組みの中で、未来を生き抜くために必要な、考え行動する力をつけるために「主体的・対話的で深い学び」を展開していきます。また、知識・理解にとどまらず、学びを活かし、様々な問題を「自分の問題」として行動する「実践する力の育成」を目指します。 ○図書館では多様な学習ニーズに対応するため、時節に即した資料展示や、町民を対象としたインターネットからの在架予約やレファレンス（調査相談）サービス、図書館報、図書館ホームページによる情報発信、読書啓発行事の実施など、積極的な情報発信や、読書関連行事の実施に努めます。	*猪名川学の推進 *図書館教育の推進

主な取組	
⑥安全教育、学校保健体制の拡充	
○保護者、地域、警察などの関係機関との連携を密にし、幼児児童生徒の安全と命を守るネットワークの構築に努めるとともに防災教育を行います。また、自らの命を守るための実践的対処法を身に付けられるよう、防犯訓練や交通安全教育等を実施します。 ○食育担当委員会を中心に、学校教育全体を通して、食育に取り組みます。 ○学校保健委員会を充実させ、防煙教育・がん教育・薬物乱用防止教育に取り組みます。	*防災教育、安全教育の実施 *食育活動の推進 *健康教育の推進
⑦教育DXの推進	
○1人1台タブレット端末を活用する学習活動を通して、児童生徒がICT機器を日常的に活用できる実践力を育成するとともに、教職員向けの研修等を実施し、ICTを効果的に活用する指導力の向上を図ります。	*発達段階に応じた情報活用能力の育成



松尾台小学校（交通安全教室）



猪名川中学校（トライやる・ウィーク）



楊津小学校（タブレットを活用した算数学習）

令和7(2025)年4月 猪名川町教育委員会

猪名川の教育ナビゲーション

猪名川で学び、^{あす}未来をつくる

— 終身成長で紡ぐ幸せの物語 —

〒666-0292

兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11-1

TEL (072) 766-6006

FAX (072) 766-3034

